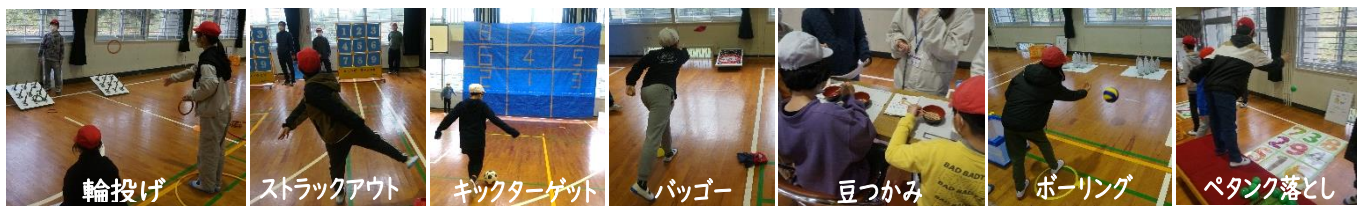




5年生宿泊教室 part2

前夜の窓ガラスを叩くような風と共に天候が荒れ、雨天となり、昨日26日(火)は計画変更を余儀なくされました。午前中は、「ASOびんピック」という活動を行いました。ASOびんピックは、体育館で行い、輪投げやストラックアウト、キックターゲット、バグジー、豆運び、空き缶積み、ボーリング、ペタンク落としなどの競技に挑戦しました。これらの競技に班で協力しながらチャレンジし、得点を競い合いました。班の仲間が高得点を挙げたり、ナイスプレーを繰り出したりすると、歓声が上がリ、体育館の中は熱戦が繰り広げられました。「ASOびんピック」を体験した子供たちの伸びた心とその理由です。「🟢 帯西グリーン：缶積みでは、みんなと協力して楽しめたし、絆が深まったと思ったからです。」「🟡 帯西イエロー：みんなと協力して、ルールを守ってできたからです。特にキックターゲットは、蹴る場所や当たった所などルールを意識しました。」「🟡 帯西イエロー：遊びをやった後の後片付けがしっかり責任をもってやれたからです。」このように、子供たちは、たくさんの体験を通して、心を働かせて行動することの心地よさを感じているようです。



午後は、キャンドルの集いの練習を行った後、阿蘇南郷檜(あそなんごうひ)を使ったコースター作りに挑戦しました。阿蘇南郷檜は、五百年前から御神木として阿蘇の暮らしを見守ってきた阿蘇に伝わる檜だそうです。檜の香りに癒されながら、子供たち一人一人がコースターに絵を描いていきました。阿蘇の山々の景色、帯西レンジャー、水基巡りの様子等、世界で一つだけのオリジナルコースターが完成しました。



その後、キャンドルの集いに向けて、各グループで練習や打ち合わせを行い、夕ご飯を食べて、宿泊教室のメインイベントであるキャンドルの集いが始まりました。キャンドルの集いは、厳かな雰囲気の中、幕が開き、キャンドルの炎を灯していきます。そして、雰囲気を変えて、各グループの出し物の披露が始まりました。子供たちはこれまで時間を見つけて練習を重ねてきた劇や歌、リコーダーの演奏まで幅広い出し物があり、子供たちの素晴らしい個性が発揮されました。小道具も自分たちで手作りの物が多く、今日までの強い思いを感じさせてくれました。この夜のキャンドルの灯りは、子供たちの胸の中に一生残る思い出として灯り続けて欲しいと願いながら、阿蘇の地は、夜の静寂に包まれていきました。

